

愛知県感染症情報

Infectious Diseases Weekly Report

平成 18 年 10 週(3 月 2 週 3/6~3/12)

平成 18 年 3 月報合併号

(作成) 愛知県感染症情報センター

連絡先:052-910-5619 E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

今週の内容

- ・感染症流行状況
- ・定点医療機関コメント
- ・全数把握感染症発生状況
- ・平成 18 年 3 月報
- ・病原体検査情報
平成 17 年度疾患別ウイルス検出状況速報
(平成 18 年 3 月 15 日現在)
- ・感染症だより(2 月後半 / 3 月前半)
- ・WHO 疫学週報抄訳
2006 年 3 月 3 日(81 巻 9 号)
2006 年 3 月 10 日(81 巻 10 号)
- ・五類定点把握感染症報告数
(保健所別、年齢別)

感染症流行状況

注意する感染症

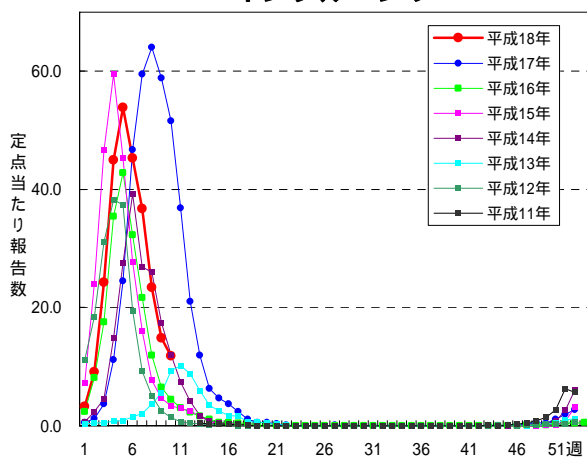
インフルエンザの報告数は 1 定点当たり 11.5 人と減少しました。

インフルエンザは第 5 週を流行のピークとして、その後 5 週連続して減少しましたが、流行はまだ継続していますので、今後も発生動向の推移には注意が必要です。

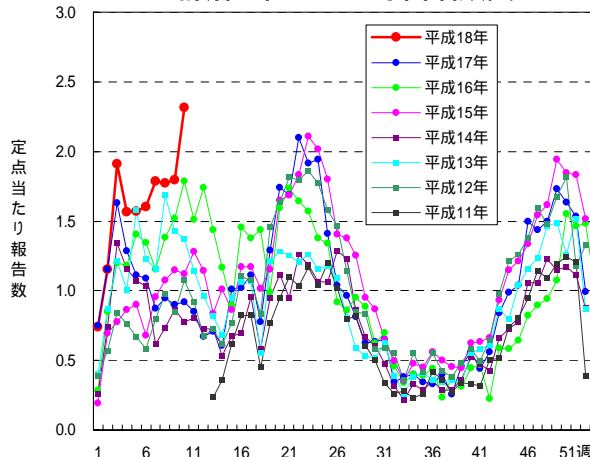
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の 1 定点当たり報告数は 2.3 人となり、前週に比べて 1.3 倍に増加しました。愛知県では過去 6 年間で最も高い報告数となっています。

今後も、報告数の多い状態がしばらく続くことが予想されますので、衛生管理の基本であるうがいや手洗いなどを心がけて感染を防ぎましょう。

インフルエンザ



A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎



その他の疾病のグラフについては「グラフ総覧」(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>)をご覧ください。

愛知県感染症情報センター (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>)

インフルエンザウイルス分離状況(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/0506infunri.html>)

インフルエンザ関連情報リンク集(http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/inf_links.html)

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎(http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/a_youren.html)

国立感染症研究所感染症情報センター (<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

インフルエンザ4名のみ うち2名が2回目のA型インフルエンザ(いずれもワクチン歴なし)

溶連菌感染症が目立ちました。

【一宮市 あさのこどもクリニック】
病原性大腸菌O126 6歳男
インフルエンザ未だ多いです。

【一宮市 城後小児科】
インフルエンザA 7歳女1月に続いて2回目

【一宮市 平谷小児科】
この一週間でインフルエンザ(+)12人 A型10人 B型2人
前週に比べ、大幅に減っています。

【一宮市 一宮市立市民病院】
インフルエンザ散発状態になりました。

【一宮市 医療法人かすが内科】
インフルエンザの流行はほぼなくなった様に思われます。

週初めは5人/日でしたが、週末には1人/日以下になりました。

【犬山市 武内医院】

インフルエンザ全てA型 40caseと減少してきました。

手足口病が散見されます。

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
溶連菌感染症、感染性胃腸炎が多く見られています。

手足口病5名、インフルエンザ13名ありました。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】
嘔吐、下痢を伴った胃腸かぜが多い様です。

インフルエンザも未だ見られます。全てA型です。

【春日町 丹羽医院】
インフルエンザA型 7名
インフルエンザB型 6名
計 13名でした。

【津島市 医療法人参育会加藤医院】

尾張東部地区

溶連菌感染症、水痘が多くみられ、アデノウイルス感染も目立ちます。

インフルエンザは減少しA型インフルエンザ 9例のみです。

【瀬戸市 津田こどもクリニック】
28歳男カンピロバクター腸炎
A型インフルエンザ 4名

【豊明市 豊明団地診療所】
インフルエンザが抜けました。

【愛知郡東郷町 ホリバ医院】
インフルエンザA 落ち着いてきました。
RSウイルス感染症もあります。

【春日井市 春日井市民病院】
インフルエンザA型 35例
手足口病続発中

【春日井市 朝宮こどもクリニック】
インフルエンザは平衡状態です。

【小牧市 志水こどもクリニック】

6歳女 40日あけて2回A型インフルエンザに罹患

4歳女 溶連菌+ CAM 14日内服14日あけて再度溶連菌+

6歳女 50日あけて2回A型インフルエンザに罹患

【春日井市 竹内医院】
インフルエンザ今週も減少傾向です(B型はありません。)

乳幼児の嘔吐、下痢が少し目立っています。今週も手足口病1例ありました。

その他、水痘、突発疹等

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科】
インフルエンザ減少傾向だが2回目のA型に感染例もあり。

ロタ腸炎の入院5、6名

【小牧市 小牧市民病院】
男10名、女10名相変わらずインフルエンザ出ます。

【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】

インフルエンザA 7名
【半田市 医療法人林医院】
インフルエンザ11名(A型)
【南知多町 医療法人大岩医院】

溶連菌感染症、ムンプス増えてます。
【東海市 小児科ハヤカワ医院】
4歳女 インフルエンザB型(+)(今季
B型2回目)
【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

インフルエンザA型6名、B型3名
4歳男女、8歳男 StrepA(+) 3名
0歳男、1歳男女、3歳女 ラピッドテ
スタロタ(+) 4名
6歳男 E.coli(O74)
2歳男 E.coli(O1)
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
5歳女 病原大腸菌O125(+)
3歳女 病原大腸菌O18(+)
6歳女 病原大腸菌O111(+)
インフルエンザはA型のみ。
【岡崎市 花田こどもクリニック】
インフルエンザ減少
ワクチン接種率46%
全てA型
2回罹患児1名
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
3歳女 アデノ(+)
【岡崎市 にいのみ小児科】
10歳女 病原大腸菌 O126
6歳男 病原大腸菌 O111
A型インフルエンザ減少(2回罹患患者3名)
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
インフルエンザ計14名、全てA型
うちワクチン済は3名
【岡崎市 栗屋医院】

インフルエンザA型 3名
【岡崎市 医療法人永坂内科医院】
FluA(+)7件、Rota(+)1件、Ade
no(+)2件、StrepA(+)3件
【刈谷市 田和小児科医院】
インフルエンザ定点(内科)
総検体数105うち陽性20(検出率19%)
全てA型
【安城市 安城更生病院】
インフルエンザ患者はなし。
【安城市 鳥居医院】
溶連菌感染症 12名
インフルエンザA 13名
【知立市 宮谷クリニック】
ロタウイルス 11か月男
感染性胃腸炎、溶連菌感染症が多いです。
【三好町 三好町民病院】
インフルエンザA4名 すべてワクチン
接種済み。
【西尾市 やすい小児科】
インフルエンザ全てA型 10人
まだ感染性胃腸炎多くみられます。
【西尾市 山岸クリニック】
1歳女 アデノウイルス感染症
インフルエンザは全例A型です。
【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

ムンプス 保育園で流行中
【豊橋市 あずまだこどもクリニック】
インフルエンザ先週より4分の3に減少
5歳男、3歳女 アデノ扁桃炎
1歳男 ヘルペス歯肉口内炎
【豊橋市 医療法人野村小児科】
インフルエンザはA型31名と減少しま
した。
【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】

インフルエンザ減少すべてA型
水痘増加
【豊川市 豊川市民病院】
インフルエンザB型が1名いました。
【豊川市 ささき小児科】

一～三類感染症の発生状況

- 愛知県(名古屋市を除く。) -

発生報告なし

四類・五類(全数把握)感染症の発生状況

- 愛知県(名古屋市を除く。) -

アメーバ赤痢 2 例(推定感染地域:国内 2 例、推定感染経路:不明 2 例) 1 例は 11 週報告分
(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokede.html#5-1>)

レジオネラ症 1 例(71 歳)
(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/leg.html>)

2 月の一～五類感染症 (全数把握対象) 発生状況

平成 17 年度に発生があった疾病名 内は全数把握対象疾病数	平成 18 年 2 月			平成 17 年度 累 計 (愛知県)	内訳 (2 月)	
	愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体			
一類 感染症 7				発生報告無し		
二類 感染症 6	コ レ ラ			1		
	細 菌 性 赤 痢	3	1	4	28 (2)	
	腸 チ フ ス	1		1	7	
	パ ラ チ フ ス				3	
三類 感染症 1	腸 管 出 血 性 大 腸 菌 症 感 染	2 (1)	2	4 (1)	178 (46) O115 1 件 O157 3 件	
四類 感染症 30	E 型 肝 炎		1	1	3	
	A 型 肝 炎		6	6	10	
	オ ウ ム 病				5	
	つ つ が 虫 病				3	
	デ ン グ 熱				3	
	ボ ツ リ ヌ ス 症				1	
	マ ラ リ ア				8	
	レ ジ オ ネ ラ 症	2	4	6	27	
五類 感染症 14	ア メ ー バ 赤 痢	1	3	4	41	
	ウ イ ル ス 性 肝 炎 及 び A 型 (E 型 肝 炎 及 び A 型 肝 炎 を 除 く。)	2		2	5	B 型 2 件
	急 性 脳 炎 及 び (ウエストナイル脳炎及び 日本脳炎を除く。)				3	
	ク ロ イ ツ フ ェ ル ト ・ ヤ コ ブ 病				5	
	劇 症 型 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 感 染 症	3		3	7	
	後 天 性 免 疫 不 全 群 症 候	1	8	9	73	A I D S 2 件 無 症 候 性 7 件
	ジ ア ル ジ ア 症				1	
	先 天 性 風 し ん 症 候 群				1	
	梅 毒	1	2	3	47	早期顕症 2 件 無 症 候 1 件
	破 傷 風				2	
	バンコマイシン耐性腸球菌 感 染 症				2	

() 内は無症状病原体保有者

五類感染症（月報定点把握対象）発生状況

No	疾 病 名	平成 18 年 2 月			平成 18 年 1 月		
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県 全体
1	性器クラミジア感染症	109	22	131	91	32	123
2	性器ヘルペスウイルス感染症	31	6	37	26	5	31
3	尖形コンジローマ	29	9	38	21	11	32
4	淋菌感染症	44	26	70	81	35	116
5	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	104	8	112	66	8	74
6	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1		1			
7	薬剤耐性緑膿菌感染症		1	1			

上記の報告数は感染症月報指定届出機関(性感染症 : 51、基幹 : 13 医療機関) で把握したものです。

感染症の類型及び定義

類 型	定 義
一類感染症 (7 疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (6 疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (1 疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (30 疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症（人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。）
五類感染症 (42 疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。

病原体検査情報

平成 17 年度疾患別ウイルス検出状況(速報)

2006 年 3 月 15 日現在

	感染性 胃腸炎	手足 口病	ヘル パン ギー ナ	咽 頭 結 膜 熱	流 行 性 角 結 膜 炎	無 菌 性 髄 膜炎	急 性 脳 炎	イン フル エン ザ
患者数	301(222)	48(24)	84(2)	9	19(4)	34(12)	13(5)	250(229)
PV-1	2(2)	-	-	-	-	-	-	-
PV-2	2(2)	-	-	-	-	-	-	-
PV-3	2(1)	-	1	-	-	-	-	-
CV-A4	-	-	1	-	-	-	-	-
CV-A5	-	-	1	-	-	-	-	-
CV-A6	-	7	15	-	-	-	1	-
CV-A10	-	2	31	-	-	-	-	-
CV-A14	-	1	-	-	-	-	-	-
CV-A16	-	8(2)	-	-	-	1	-	-
EV-71	-	9(9)	-	-	-	1(1)	-	-
CV-A9	2(2)	-	-	-	-	1(1)	-	-
CV-B2	1(1)	-	-	-	-	-	-	-
CV-B3	1(1)	-	1(1)	-	-	2	-	-
CV-B4	-	-	-	-	-	1(1)	-	-
CV-B5	-	-	-	-	-	1(1)	-	-
E-3	1	-	-	1	-	-	-	-
E-7	1	-	-	-	-	-	-	-
E-30	-	-	-	-	-	1	-	-
HPeV-1	7(2)	1	-	-	-	-	-	-
Flu.A(H1)	-	-	-	-	-	-	-	60(60)
Flu.A(H3)	-	-	-	-	-	-	-	119(104)
Flu.B	-	-	-	-	-	-	-	7(6)
Reo 2	1(1)	-	-	-	-	-	-	-
Rota A	4	-	-	-	-	-	-	-
Rota A-G1	24(21)	-	-	-	-	-	-	-
Rota A-G2	1(1)	-	-	-	-	-	-	-
Rota A-G3	5(2)	-	-	-	-	-	-	-
NV-G2	55(50)	-	-	-	-	-	-	-
Ad-1	2(1)	-	-	-	-	-	-	-
Ad-2	11(9)	2(1)	-	-	-	-	-	-
Ad-3	2	-	-	4	2	-	-	-
Ad-4	-	-	-	-	2(1)	-	-	-
Ad-5	-	-	-	1	-	-	-	-
Ad-8	-	-	-	-	8(2)	-	-	-
Ad-37	-	-	-	-	2	-	-	-
Ad-41	7(5)	-	-	-	-	-	-	-
HSV-1	-	-	1	-	-	-	-	-
検査中	30(30)	2(2)	-	-	-	2(2)	1(1)	46(46)
陰性	153(101)	16(10)	33(1)	3	5(1)	25(7)	11(4)	18(13)

平成 17 年度疾患別ウイルス検出状況速報 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>)
 インフルエンザウイルス検出状況 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/0506infunri.html>)

PV: ポリオウイルス

E: エコーウイルス

HPeV: ヒトパレコウイルス

Flu.A(H3): A 香港型インフルエンザウイルス

Reo 2: レオウイルス 2 型

NV-G2: ノロウイルス (遺伝子型 G2)

HSV: 単純ヘルペスウイルス

CV: コクサッキーウイルス

EV-71: エンテロウイルス 71 型

Flu.A(H1): A ソ連型インフルエンザウイルス

Flu.B : B 型インフルエンザウイルス

Rota A: A 群ロタウイルス

Ad: アデノウイルス

愛知県衛生研究所企画情報部(文責 磯村)

校庭に沈丁花の香がほのかに漂い、着飾った卒業式の女子学生に出会ったりする頃となりました。いつも貴重な情報を有難うございます。2月後半/3月前半のまとめをお送りします(今回も再度先週までのずれの後遺症で2か月にまたがったまとめです)。

- 1) 名古屋市内：名鉄病院福田先生からはインフルエンザ多発が続き(殆どA型、まれにB型)、ロタウイルス腸炎の流行も続いているがやや下火で、入院例の主体がインフルエンザとロタウイルス感染の重症例で、気道感染症ではクループ症候群が目立ち要入院例が少々、第二日赤岩佐先生からはインフルエンザAとロタウイルス感染症がまだ多く入院でもインフルエンザAとロタウイルス腸炎が目立つ、千種区今枝先生からはインフルエンザがぼつぼつ、感染性胃腸炎1名、三菱病院入山先生からはA型インフルエンザは8名と減少(入院5名)、感染性胃腸炎10名と目立ち脱水を合併したロタウイルス腸炎で3名が入院、マイコ3名を含む気管支炎~肺炎で6名入院、A群溶連菌感染症2名あり、中京病院柴田先生からはインフルエンザとロタウイルス感染症が目立ち入院例が増加、溶連菌感染症も出ていて水痘散発、大同病院水野先生からはインフルエンザは減少、アデノウイルス、溶連菌、マイコプラズマ感染症(入院目立つ)が増加、ロタウイルスによる脱水の児は多いが痙攣のある子はいない、季節的に喘息発作合併が多いとのお手紙でした。
- 2) 尾張地区：江南市昭和病院小児科からはインフルエンザは一時減少傾向を示したが月末に至りA型が再び増加(香港型?)、ロタを含む感染性胃腸炎がやや増加傾向で溶連菌感染症3例、水痘1例、江南市昭和病院小児科からはインフルエンザ減少、A群溶連菌感染症が目立ち、入院ではロタウイルス性胃腸炎とムンプス髄膜炎が目立つ、常滑市民病院高橋先生からはインフルエンザAは減少したがまだあり、B型は増えず(インフルエンザAで初回の熱性痙攣で入院例依然として目立つ、ロタウイルス胃腸炎散発、水痘とムンプスが散発、マイコプラズマらしき肺炎、気管支炎ちらほらあり、とのお手紙でした。
- 3) 三河地区：トヨタ病院木戸先生からはムンプス、水痘が散発、入院ではロタウイルス感染症、ムンプス、水痘などが目立ち、インフルエンザは消失、加茂病院梶田先生からはインフルエンザAはだいぶ減少、今シーズン2回目のフル陽性の子が時々あり、B型はいない、水痘、ムンプス、A群溶連菌感染症が引続き流行中でロタウイルス感染症とクループの入院がやや多い、刈谷市田和先生からは3月前半2週間でインフルエンザA型が15例、溶連菌感染症7例、ロタ陽性の嘔吐下痢症7例、アデノ陽性の急性扁桃炎2例、豊橋市からはA型インフルエンザ、ロタウイルス腸炎、水痘、ムンプスなどが目立つとのお手紙でした(市内長屋先生、宮澤先生)、有難うございました。

2006 年 3 月 3 日（81 巻 9 号）<http://www.who.int/wer/2006/wer8109/en/index.html>

鳥インフルエンザ。ナイジェリア：2 月 8 日から北部カドナ州で発生、2 月 22 日に H5N1 と確認された鶏インフルエンザは周囲の鶏舎に拡大。現時点では人感染例は報告されていない。ナイジェリア当局は鶏インフルエンザが北部のカノ市から首都アブジャを含む各地区の鶏舎で発生しているのを確認、現在調査を進めている。現在までに病鶏と接触後呼吸器症状を呈した例が 4 例（死亡女性 1 例、他は生存）あり英国の WHO 検査機関に検体送付、検査中。最初の鶏流行はカドナ州で 1 月 10 日に発生していることが確認されており、人の接触は以前からあったと思われるが、鶏流行のあったカドナ、カノ、カチナ各州の主要病院診療記録の検討では人感染疑い者はゼロ。鶏舎単位の大流行は多発しているが詳細は不明であり、小規模裏庭養鶏の実態は把握不能。ナイジェリアの養鶏は主に南西部に集中しているが今回の北部の発生の拡大は不明、近隣諸国への広がりが注目される（国境は抜け穴だけである）。現在 WHO 要員が監視継続中。

インフルエンザ。06～07 年流行期用ワクチンに関する WHO 勧告：(1)06～07 年北半球の冬期の流行にそなえたワクチン株の組合せは A / ニューカレドニア / 20 / 99 (H1N1) + A / ウィスコンシン / 67 / 05 (H3N2) + B / マレーシア / 2506 / 04、ないしその類似株と決定。(2)05 年 10 月～06 年 1 月の世界の流行状況：A 型 (H1) は小規模発生でニューカレドニア 20 / 99 類似、A (H3N2) はいくつかの国で発生し標準株の A / カリフォルニア / 04 よりは A / ウィスコンシン / 05 類似株が多く、B 型の発生は少なく B / ビクトリア / 87 と B / 山形 / 88 系のウイルスが流行し、最近の B / 上海 / 02 ワクチンより B / マレーシア / 04 が抗体上昇良好であった。

結核ストップ世界計画。2006～2015 年計画の概要：01～05 年計画に引き続き 06～15 年の結核ストップ計画が地球規模の公的・私的機関の国際協力で展開。目標は 2015 年に世界の結核の半減、2050 年の結核根絶であり、DOTs 拡大、多剤耐性菌 DOTs、結核 / HIV 感染対策、新診断法と新抗結核剤の開発、新ワクチン開発、情報交換推進と住民動員、の 7 部門で、地域単位の目標設定と作戦計画策定が実施されるべきである。この計画履行で達成される事項として(1)全ての人に良質な結核診断と治療の供給、(2)計画の 10 年間で 5 千万人が結核治療を受け、HIV と重複感染している 3 百万人が抗 HIV 薬投与、(3)06～15 年の死者 1,400 万人減、(4)2010 年には新薬の開発、15 年には治療期間短縮、(5)10 年には診断法の迅速化、安価となり 12 年には精度向上、(6)15 年には新型ワクチン開発、(7)東欧やアフリカでは遅れるかもしれないが、15 年には 90 年に比し結核患者は半減。(8)計画の総経費は最初の世界計画から年間投資は 3 倍の増加が見込まれ、05 年の世界保健会議 (World Health Assembly) に参加した全ての国が国内外の資金により必要な資金確保を確約している。

国際検疫病届出：なし。

2006年3月10日(81巻10号) <http://www.who.int/wer/2006/wer8110/en/index.html>

コレラ。南スーダン：1月28日～3月3日。南スーダン自治政府(注：反政府地区)保健省の急性水様下痢対策部会がWHOの協力で5,634例(死亡127)報告。スーダン南部のジュバ市とエイ市に集中。稲葉型コレラ菌陽性。調査網強化、治療方針の統一と住民教育、環境整備、飲料水消毒などが進行中(<http://www.emro.who.int/sudan/>)。

髄膜炎菌髄膜炎。ケニア：保健省発表。1月28日～2月26日で74例報告(死亡15)。ウガンダの流行地区に隣接する同国西部地区で発生。髄膜炎菌W135型。国際協力機構による三価ワクチン20万人分とクロラムフェニコールが準備され、3月7日からWHO/ユニセフと国境なき医師団による予防接種開始。

麻しん死亡。99～04年の世界規模の減少。WHO/ユニセフ合同の01～05年麻しん死亡減少計画の進捗：WHO/ユニセフは麻しんが重荷(Burden)となっている途上国45カ国を重点として作戦開始、目標は予防接種率90%以上で全員2回接種。03年3月の世界保健会議は、05年までに麻しんの死亡例数を99年の推定数の半分にすると宣言した。本報はその達成状況の近況である。予防接種普及活動：WHO/ユニセフの推定では世界全体の麻しんワクチン接種率は99年の71%が04年には76%に増加、地域差が大きいがアフリカ・サハラ南縁諸国の49%から65%、南アジア諸国の54%から61%の増加が目立っている。また、2回接種可能な国が増加し01年に150カ国であったのが04年には168カ国となっている。重点目標とされた45カ国における接種は良好で生後9か月～14歳の小児232百万のうち215百万名(93%)が接種されている(WHO地域別の一覧表と国別接種方式の世界地図あり)。世界規模の麻しん死亡：04年における推定死亡数は45万4千名で99年の48%減となっている。

インフルエンザ。05年9月～06年1月の世界の状況：この時期のインフルエンザ流行は例年に比し低かった。北米とアジアでは発生は10月にはじまり、国によっては12月に増加したが欧州では年間を通じて少なかった。A(H1N1)は少なく従来のA/ニューカレドニア/99に類似、A(H3N2)が数カ国で発生、最近の株はA/ウイスコンシン/05類似、B型が各地で散発しB/マレーシア/04類似であった。

国際検疫病届出。なし。

愛知県感染症情報

2006年第1週～第10週(平成18年1月2日～平成18年3月12日)(累計)

愛知県衛生研究所

	定点数					RSウイルス感染症	インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																					
愛知県																										
愛知県 (名古屋市を含む)	195	182	35	51	13	291	52,179	280	2,952	12,993	3,081	503	233	968	3	6	28	6	1,563	8	163	2	4	52	0	0
総数 (名古屋市は除く)	125	112	24	37	12	264	41,588	217	2,111	8,381	2,463	330	189	764	2	4	20	6	1,361	5	128	2	4	52	0	0
名古屋市	70	70	11	14	1	27	10,591	63	841	4,612	618	173	44	204	1	2	8		202	3	35					
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1	58	2,246	37	232	423	168	23	5	41		2		60		5			12		
海部津島	津島	7	7	2	2	1	1	2,122		38	834	127	16		19		1		25		6			3		
尾張中部	師勝	4	4	1	1			1,113		103	242	43	10	3	20				47		9					
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1	5	3,068	18	125	624	242	46	13	66	1		2		72		12			9	
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1	50	4,215	44	205	602	189	55	10	62			4		249		17	1	3		
	江南	6	6	1	2		21	1,809	24	202	683	137	22	4	81			3	3	88		10				
知多半島	半田	6	6	1	2	1	8	2,292	5	124	224	165	49	23	77			2	2	30		9	1			
	知多	7	7	2	2		33	2,402	11	165	543	197	16	25	55			1		49		6				
西三河南部	岡崎市	11	7	2	2	1	9	3,535	14	153	461	209	13	9	84		4		51							
	衣浦東部	13	13	2	4	1	20	6,010	24	266	879	239	20	9	63	1			79		13			1		
	西尾	5	5	1	2	1		1,699		58	443	135	4	3	36				30	5	10			1		
西三河北部	豊田市	9	9	2	4	1	17	4,780	15	127	989	169	13	8	68			3		68		16		1	16	
東三河南部	豊橋市	12	8	2	4	1	26	3,579	12	143	811	219	21	13	50			2		282		4			5	
	豊川	9	8	1	2	1	16	2,351	13	169	622	224	21	64	40			1	228		11			5		
東三河北部	新城	2	2			1		367		1	1			1					3							

